

社団法人日本気象学会

2008年度事業報告

1. 会員数の動向 (2009年3月31日現在)

() は前年比

会員数合計	3,928名 (-91名)
通常会員	1,087 (-25)
一般 A	687 (+7)
B	241 (-10)
学生 A	81 (-16)
B	12 (-3)
高年 A	61 (-1)
B	5 (-2)
特別会員	2,507名 (-45名)
一般 A	1,832 (-26)
B	367 (-44)
C	26 (+1)
D	4 (+3)
学生 A	180 (+10)
B	16 (-1)
高年 A	72 (+9)
B	10 (+3)
団体会員	285団体 (-26団体)
団体 A	93 (-8)
B	111 (-4)
C	81 (-14)
賛助会員	33団体 (±0)
名誉会員	16名 (+5名)

2. 機関誌等の刊行

- (1) 天気第55巻4号～第56巻3号、12冊(1,000頁、昨年度より48頁減)、各号4,200部印刷、電子ジャーナル版公開、
- (2) 気象集誌第86巻2号～第87巻1号、6冊(1,015頁、376頁減、特別号1冊減)、各号1,250部印刷、電子ジャーナル版公開
- (3) 英文レター誌 SOLA 第4巻～第5巻
第4巻 28編 112頁
第5巻 10編 40頁

(4) 気象研究ノート

- 218号「エアロゾルの気候と大気環境への影響」(2008年6月) 178頁、1,500部
- 219号「ラージ・エディ・シミュレーションの気象への応用と検証」(2008年11月) 166頁、1,500部

(5) 大会予稿集

- 春季大会(93号) 509頁 1,500部印刷
- 秋季大会(94号) 543頁 1,500部印刷

3. 会議等の開催

(1) 総会

- 2008年5月19日、横浜市開港記念会館講堂(出席者87名、総会参加票598名、計685名)
- 2007年度事業報告・決算報告、2008年度事業計画・予算が承認された。
 - 第35期役員候補者選挙における当選者及び当選者の推薦による理事候補者が報告され、提案のとおり承認された。
 - 5名の名誉会員候補者が報告され、提案のとおり承認された。
 - 公益法人への移行ならびに地球惑星科学連合の法人化について、現状および今後の対処方針等が報告された。

(2) 理事会

- 第34期(第10回) 2008年5月18日、横浜
第34期(第11回) 2008年6月16日、東京
第35期(第1回) 2008年6月16日、東京
第35期(第2回) 2008年6月30日、書面
第35期(第3回) 2008年11月19日、仙台
第35期(第4回) 2008年12月25日、書面
第35期(第5回) 2009年3月13日、東京

(3) 常任理事会

- 第34期(第20回) 2008年4月17日、東京
第34期(第21回) 2008年5月18日、横浜
第34期(第22回) 2008年6月16日、東京
第35期(第1回) 2008年7月11日、東京
第35期(第2回) 2008年9月8日、東京

第35期(第3回) 2008年10月9日、東京
第35期(第4回) 2008年11月19日、仙台
第35期(第5回) 2008年12月15日、東京
第35期(第6回) 2009年1月22日、東京
第35期(第7回) 2009年2月25日、東京
第35期(第8回) 2009年3月13日、東京

(4) 評議員会

第35期(第1回) 2009年3月13日
会場: 弘済会館(東京)

4. 大会及び研究会等

(1) 春季大会 2008年5月18日～21日

会場:
横浜市開港記念会館、横浜情報文化センター
(担当: 海洋研究開発機構、防衛大学校)
シンポジウム:

海洋観測が切り拓く気候システム科学

(2) 秋季大会 2008年11月19日～21日

会場:
仙台国際センター(担当: 東北支部)
シンポジウム:
地域の詳細な気象と気候の再現を目指して
—ダイナミックダウンスケール技術の高度利用—

(3) 研究連絡会

ア メソ気象研究連絡会

東京 2008年5月17日
福島 2008年11月18日

イ オゾン研究連絡会

横浜 2008年5月20日
仙台 2008年11月19日

ウ 極域・寒冷域研究連絡会

横浜 2008年5月20日
仙台 2008年11月19日

エ 非静力学数値モデル研究連絡会

名古屋 2008年11月27-28日

オ 天気予報研究連絡会

東京 2009年1月30日

カ 航空気象研究連絡会

東京 2009年2月20日

キ 統合的陸域圏研究連絡会

仙台 2008年11月19日

ク 惑星大気研究連絡会

東京 2008年5月17日

ケ 気象教育研究連絡会

横浜 2008年5月18日

コ 長期予報研究連絡会

東京 2008年10月2日

(4) 第20回日本気象学会夏期特別セミナー

(若手会 夏の学校)

大分 2008年7月19-21日

(5) 他学会との共催等

ア 第57回理論応用力学講演会

2008年6月10-12日

イ 第45回アイソトープ・放射線研究発表

2008年7月2-4日

ウ 第25回エアロゾル科学・技術研究討論会

2008年8月20-22日

エ 第20回風工学シンポジウム

2008年12月3-5日

5. 研究業績の表彰

(1) 日本気象学会賞

岩崎 俊樹 東北大学大学院理学研究科

青木 輝夫 気象庁気象研究所

(2) 藤原賞

松本 誠一 元気象庁気象研究所

廣田 勇 京都大学名誉教授

(3) 山本・正野論文賞

三浦 裕亮 海洋研究開発機構地球環境フ
ロンティア研究センター

三好 建正 気象庁予報部

(4) 堀内賞

大島 慶一郎 北海道大学低温科学研究所

橋口 浩之 京都大学生存圏研究所

(5) 奨励賞

小寺 裕之 気象庁函館海洋気象台

6. 支部活動

(1) 北海道支部

研究発表会 (札幌) 2008年6月9日

(札幌) 2008年12月16-17日

(2) 中部支部

支部研究会 (金沢) 2008年12月1-2日

(3) 関西支部

ア 年会 (大阪) 2008年6月28日

イ 例会

中国地区 (広島) 2008年11月8日

四国地区 (徳島) 2008年12月13日

近畿地区 (神戸) 2009年2月21日

- (4)九州支部
支部発表会 (福岡) 2009年3月7日
- (5)沖縄支部
支部研究会 (那覇) 2008年11月27日

7. 普及活動

- (1)公開気象講演会 (横浜) 2008年5月18日
テーマ
ーIPCC第4次評価報告書にみる地球温暖化ー
ー脱温暖化都市横浜を目指してー
ー市民団体の取り組みー
- (2)第42回夏季大学
2008年8月2-4日 (東京:気象庁)
「新しい気象学」ー気象のシミュレーションIIIー
- (3)サイエンスカフェ
第11回~第15回 (東京)
- (4)北海道支部
ア 気候講演会 (札幌) 2008年6月21日
ーストップ・ザ・地球温暖化 in 北海道ー
イ 第26回気象講座「新しい気象」
(札幌) 2008年7月28-29日
ウ 特別気象講演会
第3回気象サイエンスカフェ
(札幌) 2009年3月8日
- (5)東北支部
気象講演会 (福島) 2008年10月30日
ー身近に潜む気象災害ー
- (6)中部支部
第14回公開気象講座
(名古屋) 2008年8月25日
「気象観測のブレイクスルー:GPS掩蔽法」
- (7)関西支部
ア 第30回夏季大学ー大気を診るー
(京都) 2008年8月5-6日
イ 第2回サイエンスカフェ in 関西
(大阪) 2008年12月4日
- (8)九州支部
気象教室ー気象と環境ー
(福岡) 2008年8月23日
- (9)沖縄支部
ア 親と子のお天気教室
(那覇) 2008年8月22日

イ 防災気象講演会

(那覇) 2009年1月20日

ウ シンポジウム (那覇) 2009年2月4日
ー豪雨・雷・竜巻等の激しい気象の実態に迫るー

8. 国際学術交流活動

- (1)国際学術研究集会参加補助
ア WMO/WWRP 主催:4次元変分法(4D-Var)
とアンサンブル・カルマンフィルタ(EnKF)
の比較に関する専門家会合
(ブエノスアイレス(アルゼンチン))
2008年10月27日-11月13日
三好 建正(気象庁予報部)
- イ WMO 主催:THORPEX プロジェクトに関する
第3回研究集会
(カリフォルニア(米国))
2009年5月4日-8日
松枝 未遠(地球科学技術総合推進機構)
- (2)第4回日本・中国・韓国気象学会共催国際会議
開催準備

9. 電子情報関連

- (1)学会ホームページ管理運営
- (2)メーリングリストの管理運営
- (3)日本気象学会刊行物収録DVD刊行

10. 気象研究コンソーシアム

参加研究課題 新規 3件
継続 12件
(2009年3月現在)